

Ⅲ 「交通安全の充実」に向けた取組 実践協力校：石巻市立貞山小学校



「交通安全の充実」に向けた取組

石巻市立貞山小学校

1 ねらい

日常生活における安全のために必要な事柄を理解し，安全に行動ができる態度や能力を身に付ける。

2 テーマ

自分の命は自分で守る意識を高め，危険を回避するための適切な行動をとる力を身に付ける。

3 指導時数

- (1) 春の交通安全教室・・・学級活動 1
- (2) 秋の交通安全教室・・・学級活動 1
- (3) 交通安全マップ作り・・・総合的な学習の時間 1 4 (5年生)
- (4) 交通安全少年団活動・・・業前活動，終業式等
- (5) 学校区パトロール・・・課外活動

4 指導の流れ

(1) 春の交通安全教室

低学年の児童は，安全な歩行の仕方について貞山地区を歩きながら学習した。石巻市の交通指導隊の協力を頂戴し，複数体制で指導に当たった。中，高学年の児童は，校庭に準備した模擬道路等を活用して自転車の安全な乗り方について学習した。練習コースは以下の3か所設置。

① 模擬道路（実戦練習）

横断歩道の渡り方や左側を安全に走行できているか等を実際の道路を想定して実践練習した。

② 運転練習コース

S字に引いた細いコースで練習する。安全に乗れるかどうかを確認することや，運転に慣れな児童の練習を目的として実施した。

③ 急ブレーキ体験

スピードを上げた状態でブレーキを掛けたときの，停止するまでの時間と距離（制動距離）を理解するために実施した。

(2) 秋の交通安全教室

低・中・高学年部に分かれて，DVDを視聴して学習した。実際の道路にはどのような危険が潜んでいるか，事故を起こしてしまったときにどのような責任が生じるかなどについての具体例を学習した。

(3) 交通安全マップ作り

5年生の総合的な学習の時間において、貞山地区の安全マップを作成した。児童はフィールドワークの前に東北工業大学の小川和久先生の講話から交通安全上の危険の4つの視点を学んだ。その後、4つの視点ごとにグループを編成し、地区の危険箇所の調査を行った。どのような危険や事故が想定されるかだけでなく、実際に歩くときにどのようなことに注意すべきかをマップに記載した。



小さい子に安全を呼び掛けることをテーマにマップを作成したため、1日入学等で来年度入学児童への発表、もしくは低学年への発表を計画している。

(4) 交通安全少年団活動

過去に貞山地区で事故に遭い命を落としてしまった児童がいることから、昭和51年に発足した。現在は、計画委員会の6年生が中心として組織されている。交通安全教室の全体会や各学期の終業式等で「貞山地区交通少年団の約束」を全校児童と唱和することで、自分の命は自分で守るということを全校に呼び掛けている。今年度は計画委員会以外の6年生もローテーションで加わり、より多くの声で安全への呼び掛けを行った。



5 成果

- (1) 交通安全マップ作りの中で、主体的に学ぶ児童の姿がたくさん見られた。コロナ禍の影響からか5年生の児童でも貞山地区に住みながら、初めて知る情報も多くあり、地域をより詳しく知るきっかけにもなった。地域への関心が交通安全への関心に欠かせないことを実感した。
- (2) 5年生で交通安全マップを作成し、関心が高まったことで、6年生になって交通安全少年団としての活動を楽しみにしている児童が増えた。
- (3) 交通安全教室は、発達段階に応じて内容を変え、中高学年は3、5年生と4、6年生に分かれて実施したことでお互いの様子を見合うことができた。

6 課題

- (1) 「交通安全少年団の約束」が長く、全校に浸透させることが難しい。教室に掲示するなどし、可視化していくことが必要である。
- (2) 交通安全マップの作成を続けていくなれば、児童の視点だけでなく、児童がどのように見られているかなど保護者や地域の声をもとにすることも必要である。
- (3) 交通安全少年団の活動は、全校で唱和するにとどまっているため、標語を募集して交通安全少年団で審査をするなど児童のアイデアを生かすようにしていきたい。